



絵を描く施設利用者(中央後方に六角ボックス)

NPO法人支援センターあんしん(市内高田町3西・本田欣一郎会長)が運営にあたっている

ワークセンター
あんしん

大ヒット商品「六角ボックス」

贈答用のトイレットペーパーが人気

「障害者福祉作業所ワークセンターあんしん」。同作業所が手掛けるトイレットペーパー事業が顧

客から好評を得ているが、中でもほどの作業が手作りからなる「六角ボックス」が贈答用に人気を得ている。

六角ボックスは六角の包みの中に、3個のトイレットペーパーを入れたもの。ボックスの外観には似顔絵などを描いた絵

を担当し、絵柄や図案を考えるのに毎日四苦八苦しているが、それもまた楽しいひとときだ。

同作業所では平成15年からトイレットペーパー事業を開始し、翌16年の中越地震を経て本格的な生産に取り組み始めた。現在では年間43万個を生産、北は北海道から南は沖縄まで納付先は全国各地に及んでいる。

イラストは全て施設利用者の筆によるもので、絵と共に「ありがとうございます」と共に紐を吊るして持ち運びにも便利なことから贈答用などで重宝されている。

6人の施設利用者が絵



発行所 十日町新聞社
新潟県十日町市北新田第3
TEL 025-752-3118㈹
FAX 025-757-2246
郵便番号 948-0041
発行日毎月 5.10.15.20.25.30
振替口座 00640-8-3317

六角ボックスの発売は中越地震後からで、年間1万本に及ぶ同作業所の大ヒット商品。ホームページで同作業所の活動を知った神奈川県の大手学習塾では、登録した生徒に配る粗品用として六角ボックス3000本を注文。同作業所の活動を支えている。

同NPOの樋口功副会長は「これほど人気が出るとは思ってもみなかつたです。今後3年間で3万本に増産したい」と手応えを感じている。

さらに樋口副会長は「物凄く忙しいことから、独自にボランティア手帳

も発行し、作業を手伝ってくれる有償ボランティアの募集も行っている。ボランティア参加者にはポイント制による特典もある。毎日150個のトイレットペーパーで障害者一人の雇用が生まれる。より多くの人々に私たちの活動を知ってほしいし、一人でも多くの方々から活動を支えて頂けたら」と話している。

六角ボックスは1本300円。販売や有償ボランティアなどに関する問い合わせは支援センターあんしん(電話757-5511)へ。